

No	項目	Q	A
1	精密減速機事業	精密減速機の需要環境について。今後の受注見通し、リードタイムの変化の有無、操業は高い状態が続くか。	需要環境はEV投資を中心に好調であり、少なくとも来年上半年までは高い需要が続くと見ている。リードタイムは受注が多い中ではあるが4週間を維持しており変更なし。操業は、浜松工場が稼働するまでは既存工場での高い操業状態が継続する。
2	精密減速機事業	下方修正の要因としてCMPでの原材料費高騰を挙げているが、想定とのギャップは何か。	精密減速機の需要が高く、顧客の需要に応える生産を行うことを第一優先と考えたため、サプライチェーンを守る上で一旦は原材料費高騰分を許容せざるを得なかった。今後、原材料高騰分については顧客への価格転嫁を進めていく考え。
3	精密減速機事業	原材料費高騰による影響について、第2四半期時点での想定はできなかったのか。	想定では価格転嫁がもう少し早く進むと期待していた。原材料高騰分は顧客に受け入れていただく方向で理解いただいているが、製品価格への反映については年度契約もあり2023年納入分からの改定になる場合もある。そのため今年度は価格転嫁の効果をすべて発現することが難しく、原材料高騰分がそのまま減益要因となっている。
4	精密減速機事業	ロボットメーカーへの価格転嫁はどのような状況か。どの程度取り戻せる見込みか。	主要ロボットメーカーにはかなりの部分を受け入れていただいているが、まだ継続を交渉しているメーカーもある。また原材料高騰をどこまで遡って価格に反映するかはお客様ごとに異なる。来年度どの程度の利益を見込めるかは現在精査している。
5	精密減速機事業	2023年の精密減速機の定時生産能力のイメージを教えてください。	過去には稼働率120%台など残業やシフトの組み直しによって定時生産能力以上に大きく上げたことはある。労働条件の制約もあり、人員リソースの調整を進めながら高い需要に応える生産をしていく。浜松工場が稼働開始する2023年10月時点では、グローバル生産能力は146万台だが、浜松工場の2023年の稼働としては第4四半期(10-12月)分のみとなり、過渡期の時期とみている。
6	油圧機器事業	2四半期連続での下方修正となったが、第2四半期時点での見直しは難しかったのか。	下方修正の主な要因として、油圧機器の中国向け需要回復が想定以上に遅れた。中国国内の不動産市況の低迷やインフラ投資の減速などを背景に、ローカル建機メーカー向け需要が大幅に減少し、中でも当社のエクスポージャーが高い中大建機向けの需要減少が主要因とみている。
7	油圧機器事業	中国市場の油圧機器のシェアが下がっていることはないか。また販売価格が下がっていることはないか。	シェアを失ったというよりは中大建機の需要減少の影響が小型建機に比べて大きく、インフラ投資が再開しなければ需要が回復しない見込み。ショベルメーカーも中大建機の在庫をかなり抱えていたようで、需要が減少した以上の影響を当社は受けている。
8	CMPセグメント	CMPセグメントでの通期計画を達成できる要因は何か。	油圧機器は中国市場での需要低迷を見込み、一層の経費節減を行う。精密減速機は積みあがった受注に対し、きちんと生産することが課題で、人の手当ても含めたあらゆる手段を講じて計画達成する見込み。受注残を消化していくことで計画線の利益は達成できる。
9	ACBセグメント	下方修正の要因となったACBセグメントのコスト増加はいくらか、また来期で取り戻せるのか。通期計画を達成できる要因は何か。	ACBでの減益要因は主に2つ。1つ目は電子部品不足によって想定よりもMRO案件に対応できなかったことだが、4Qに向けては電子部品を確保できているので遅れを取り戻す見込み。2つ目のプラットフォーム案件のコスト増加については、8億円のうち3億円は今年度中に回収、残りの回収は来期にずれこむ見込み。
10	通期計画	下方修正の要因となった50億円減益の中身として、需要減少による影響と、一過性による影響とに分けて詳細を教えてください。	50億円のうち、20億円は油圧機器の需要が減少した影響によるもの。CMPの原材料費高騰やACBのコスト増加等は一過性のものと認識しており、価格転嫁の効果を来期利益として刈り取る見込み。
11	来期への見通し	来年の事業環境について、アップサイド・ダウンサイドリスクを事業別に教えてください。	TRSはコロナからの回復により、特に鉄道、航空で改善する見込み。船舶は引き続き好調。ACBは国内での首都圏開発により建物用ドアを中心に高い需要を見込んでいる。CMPの精密減速機は極めて高い需要が続くと見ている。油圧機器は中国市場の落ち込みが急激に回復することは期待できないが水準としてはボトムまで来ており、大きなダウンサイドリスクはないと見ている。